

# 甲山文学碑案内

令和二年度 へ計二十基

甲山中学校には、校内のいたるところに詩・俳句等の名言を刻んだ文学碑があります。  
毎月紹介をしていきます。ぜひ、どこにあるか見つけてください。



## ◆詩・言の部（八基）

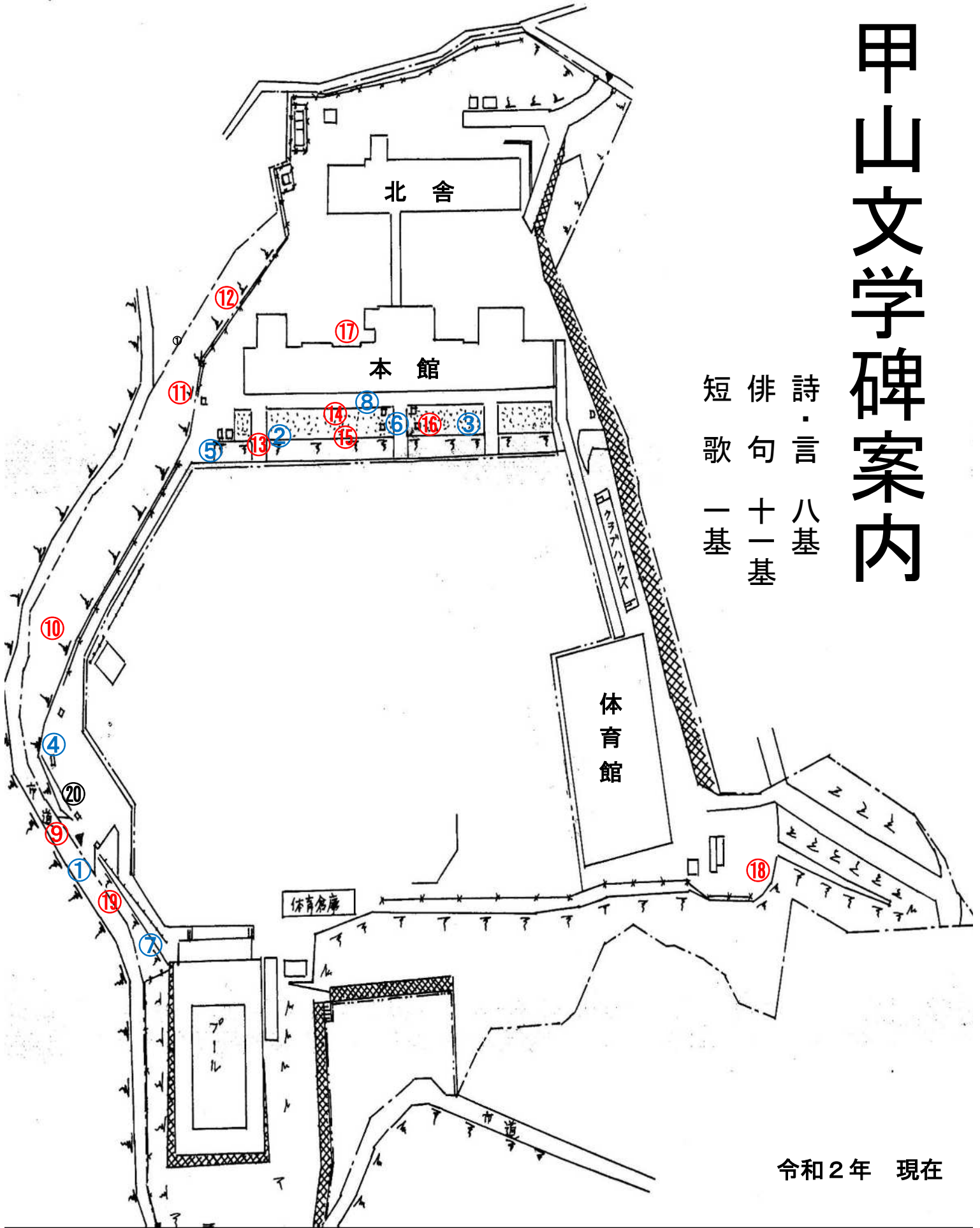
- ① 僕の前には道はない  
僕の後ろに道はできる  
光太郎
- ② 玉磨かざれば光なし
- ③ 水流止め難く光陰矢の如し
- ④ 古きをたずねて新しきを知る  
孔子
- ⑤ 学問に近道なし
- ⑥ 天に星 地に花 人に愛  
実篤
- ⑦ いかなるときにも自分は思うもう一步  
今がいちばん大事なときだ  
実篤
- ⑧ 愛と 恵と 光をかみしめて

## ◆俳句の部（十一基）

- ⑨ 裏をみせ表をみせて散るもみじ  
一茶
- ⑩ 葉桜に並木つづけり曲りても  
立子
- ⑪ 梅一輪一輪ほどの暖かさ  
嵐雪
- ⑫ アカシアの花降る中に犬の墓  
浚一
- ⑬ 朴の花しばらくありて風渡る  
素子
- ⑭ ばら崩る切るに躊躇の長かりし  
多佳子
- ⑮ 映りたるつつじに緋鯉現れし  
虚子
- ⑯ 早春の日の座となりて校訓碑  
浚一
- ⑰ 初夏や棕櫚の葉鳴りの涼しけれ  
乙字
- ⑱ 春風や闘志抱きて丘に立つ  
虚子
- ⑲ 佐まざまなこと思ひ出すさくらかな  
芭蕉
- ◆短歌の部（一基）  
⑳ 金色の小さき鳥のかたちして  
銀杏ちるなり夕陽の丘に  
晶子

# 甲山文学碑案内

詩・言 八基  
俳句 十一基  
短歌 一基



令和2年 現在